〔トケイサウ科〕*Passiflora edulis* Sims (クダモノトケイサウ).〔シウカイドウ科〕アマノガハベコニヤ，ヤウラクベコニヤ，オホバベコニヤ，*Begonia Haageana* Watson., *B.* spp.〔サボテン科〕ヨビジンチユウ，クヂヤクシヤボテン.〔ミソハギ科〕ハナヤナギ.〔ザクロ科〕ザクロ.〔テンニンクワ科〕バンジラウ.〔サンケイ科〕ミツバゼリ，ニンジン，ウヰキヨウ.〔シヤクナゲ科〕アフリカエリカ.〔カキ科〕カキ.〔ヒヒラギ科〕オリーブノキ.〔ケフチクタウ科〕*Carissa Carandas* L. (カリツサ)，ニチニチサウ，ケフチクタウ.〔タウワタ科〕サクララン.〔ヒルガホ科〕ユフガホ，サツマイモ，アサガホ.〔クマツヅラ科〕ヒギリ，セイヨウニンジンボク.〔シンケイ科〕ハツカ，*Orthosiphon stamineus* Benth. (クミスクチン)，レモンエゴマ，シソ，アヲジソ，パツチヨリー，ベニバナサルビヤ，ムラサキサルビヤ.〔ナス科〕オホバンマツリ，タウガラシ，シシタウガラシ，タカノツメ，*Cestrum nocturnum* L. (ヤコウボク)，テウセンアサガホ，タバコ，ツクバネアサガホ，トマト，ナス，ジヤガイモ.〔ゴマ科〕ゴマ.〔アカネ科〕クチナシ，*Coffea arabica* L. (コーヒーノキ)，ハクテウゲ.〔ウリ科〕トウガン，スヰクワ，シロウリ，マクハウリ，キウリ，タウナス，ニガウリ，ハヤトウリ.〔キク科〕ノコギリサウ，クワツカウアザミ，カイザイク，ゴボウ，シユンギク，マーガレツト，キク，コスモス，タケダグサ，スヰゼンジナ，ヒマハリ，キクイモ，リウゼツナ，チシヤ，タマチシヤ，オホハンゴンサウ，ヒヤクニチサウ. (昭和 25. 11. 27 稿)

○ ヘラゴケ雌阿寒岳に産す （岩野俊逸）

Shunitsu IWANO: On *Glossodium japonicum* in Hokkaido.

雌阿寒岳でヘラゴケ *Glossodium japonicum* Zahlbruckner を得たので簡單に報告する。即ち筆者は昭和 24 年8月9日北海道雌阿寒岳に植物採集登山した。阿寒湖畔から登ると一合目からしてエゾマツ，トドマツ，アカエゾマツの針葉樹林であつて下草は殆んどササである。三合目で登山路は小川を横斷しているが案內人の話によるとこの川は澁川と俗稱している由である。成る程冷たいきれいな水ではあるが澁味を持つている。この川を渡つて間もない頃登山路の傍の天然に倒れた朽木（針葉樹）にヘラゴケが群生していた。しばらく行くと又目に止つた。恐らく林中を探したらまだ見つかつたに相違ない。旅行から歸つて佐藤正己博士に御檢定をお願いした所間違なくヘラゴケの由。大日本植物誌 No. 7 佐藤博士のハナゴケ目 (1) を見ると北海道では大雪山と葦別岳で四ケ所產地が記してあり雌阿寒岳に產することは未だ聞かないので報告した次第である。尙雌阿寒岳は五合目まで針葉樹林が續き殊に四五合目はネムロトドマツの純林でその雄大な景觀は筆舌に盡せない。ここで登山路にずーつと蘚類のキセルゴケ *Buxbaumia aphylla* L. が見られたのも珍らしかつた。